

電気のすばらしさ

長森 太陽

ぼくは、エジソンの伝記を読んで、電気に興味を持ちました。エジソンが電球を発明し、暗い夜に光を照らしました。読んだ本の中で電球のフィラメントは、日本の京都の八木たけとれる竹が一番良いと知り、とてもうれしく思いました。ぼくの住んでる街には、電気の進歩にこうけんした武井武さんの胸像があります。そのようなことから、ぼくは電気の作文を書くことに決めました。

電気はぼくたちのくらしを支えるものだと思えます。もし電気が無かったら、夜は暗く、冬は寒く、テレビも見えないし、ゲームもできないのでとても不便です。電気は、ぼくたちの生活を便利に、そして豊かにしてくれます。二〇一一年に東日本大震災が起った時、日本でも電力が不足しました。また、世界でも電力が足りない国がたくさんあります。ぼくの夢は、電波がえい星を使って通信できるの

と同じように、電力を足りない国に自由に送ることができれば良いと考えます。世界の国々が助け合いながら電気を使い、みんなで豊かな未来をきづけるからです。

今、日本をはじめ世界各国で、超電どうを利用したりニアモーターカーや船などのせいで反応を起こすねん料電池がもっと実用化され、いつか車全てがソーラーカーになり、電気がかんきょうにやさしいエネルギーになる

ことをぼくは希望します。